



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりよくする

9月



加古川市立西神吉小学校

学校通信

No.73

～ ともだちっていいな ～

始業式の後に、令和8年度加古川市「人権を大切にする市民運動」啓発作品の入賞者を表彰しました。
標語・キャッチコピーの部で5年、3年、2年、ポスターの部で6年、4年、3年の計6名が入賞しました。
標語・キャッチコピーの部での受賞作品を紹介します。

令和8年度「人権を大切にする市民運動」標語・キャッチコピーの部 佳作 作品紹介

5年 見つけよう だめなところより いいところ

4年 わるぐちゼロ ありがとうはむげんで なかよくできる 友だちだ

2年 「やったー」や「たのしい」が いっぱいになったら うれしいな

ピッカリ！
ピッカリ！



昨年度もそうでしたが、今年度の作品もやっぱり友だちを大切にしたい、友だちのためにできることをしたい、という気持ちが表れています。ところが、そんな気持ちを持ち続けることは、とても難しいことです。当たり前のようにそばにいと、いつの間にか相手の気持ちを押し量ることを忘れ、知らず知らずのうちに自分本位な言葉で傷つけてしまうことがあります。自分自身の過去をふり返って見ても、友だちに傷つけられたことも、傷つけてしまったこともあります。でも、それ以上に友だちの優しさや励ましに救われたこともたくさんあって、友だちっていいなとやっぱり思います。

今年の2学期もたくさんの行事があります。運動会や音楽会、マラソン記録会、校外学習、自然学校等があります。それらの行事の取組の中で、自分のためにがんばることが一番ですが、友だちにも目を向けてほしいと思います。西神吉っ子みんなが自分のために、友だちのためにがんばることができたなら、どの行事もすてきな思い出になるはず。西神吉小学校の子ども達には、どの子も人を大切にする子に育ってほしいと思っています。昨年も紹介しましたが、須永博士さんの「ともだち」という詩を紹介します。

「ともだち」

須永 博士

ともだちを たいせつにするひとがいます
ともだちを きずつけるひとがいます
あなたは どちらをするひとになりますか
いきてつらいことや さみしいことがあったとき
いちばん うれしいのは
ともだちが やさしくしてくれることです
ちからを かしてくれることです
あなたは ぜったい
ともだちを たいせつにするひとになってほしいのです
あなた ともだちとなかよくしてね



～夏休みの経験を糧に、ご家庭でも備えの再確認を～

9月1日、始業式の日「防災の日」でした。8月30日（日）から9月5日（土）までは防災週間です。今年の夏休みは、日本各地で大きな地震や局地的な大雨・台風による被害が相次ぎました。ニュースなどを通して、自然災害の恐ろしさや備えの大切さを改めて実感されたご家庭も多いのではないのでしょうか。

学校だよりNo.50～自分の命は自分で守る！～でも紹介しましたが、学校では毎学期に避難訓練を行い、「自分の命は自分で守る」ための自助の力を養っています。しかし、災害はいつ、どこで起こるか分かりません。ぜひこの機会に、ご家庭でも以下のポイントについて話し合い、再確認をする時間をとってみてください。

☆避難場所・避難経路の確認（家族が離ればなれになったときの集合場所など）

☆連絡方法の確認（災害用伝言ダイヤル「171」やメッセージアプリの活用など）

☆非常持ち出し袋の点検（保存水・非常食の期限、電池の残量、避難用衣類の確認など）



日頃からの小さな備えと会話が、いざというときの大きな安心につながります。